

老朽化した機械設備を入れ替えて ベテランから若手へ技術承継

課題

高齢のベテランの技術の 継承が進まない

カブト工業株式会社は、日独米で特許申請した先端取替式回転センターをはじめとする製品を供給する研磨技術を核とした製造メーカー。その品質や精度は国内トップを誇る。この先端取替式回転センターは、工作機械において旋盤治具として利用される特殊な製品で、同社の強みは、数百個の特殊な加工品をミクロン単位で造り出せる経験とノウハウだ。

一方、経営においては、現社長は2代目、専務は現社長の長男が務め、事業承継は問題なく進められている。だが、先代・2代目とともに事業をもり立ててきたベテラン技術者が高齢となり、主力である30代社員への高度なものづくりの技術承継が道半ばだった。さらに、機械設備の老朽化が進み、それを補うために社員が過重労働となっていた。

そこで、老朽化が進んだ機械設備を入れ替えることが同社の課題となっていた。生産体制を整え、社員の精神的ゆとりをつくることで、ベテランの技術を30代の若手社員に承継していく時間を生み出せる。さらに、同社の研磨技術を活かして「研磨が何工程も必要とする製品」を受注していくには、ワンチャックのまま加工できる新たな設備を導入し、生産体制を整えていく必要もあった。

支援

方向性を明確化して 売上アップや事業承継に貢献

川西市商工会は支援にあたり、まずは同社に目標を定めてもらった。そして、経営革新計画承認およびものづくり補助金採択、従業員の賃金総額3%アップを目指すことに。そのうえで、商工会は、長期ビジョン策定から経営改革に向けた支援を実施した。現状の確認、進むべき方向の提案、話し合いを重ね、専門家による課題と解決策の提示も行った。その後、平成27年にものづくり補助金が採択され、さらに、同年「ひょうご成長期待企業」に認定された。勢いに乗るが、その後のフォローで新たなサービス展開の必要性を感じ、再び経営革新計画の策定支援を実施。同社のもつ特殊研磨技術を最大限に活かし、新サービスについての具体的な事業展開を事業計画に落とし込んでいった。

その結果、売上高は、平成27年度12月期の2億2002万3000円から平成29年度12月期の2億4480万7000



同社が手がける特殊先端ヘッド

円へと111.3%上昇。また、今回の経営革新計画から補助金の申請、実行まですべて後継者である専務が行ったことも大きい。中長期の計画策定をすることで社内全体の方向性を専務自身が把握し、若手社員とのコミュニケーションもとることができ、後継者としての土台づくりにつながった。

今後は、同社のもつ特殊研磨技術を活かせるターゲットを段階的に増やしていくことが目標だ。現状の自動車・工作機器産業を中心に、食品製造機械、建設部品など他業種との接点を増やして営業活動を展開していく。

支援の経過

期間	支援内容
H26年4月	事業実態のヒアリング開始
H27年4月	経営革新計画、ものづくり補助金の策定支援
7月	経営革新計画承認
10月	ものづくり補助金採択
H30年6月	ものづくり補助金採択

会社概要

会社名：カブト工業株式会社
住所：兵庫県川西市平野1-5-13
電話番号：072-793-2351
URL：http://www.kabuto-mfg.co.jp
代表者名：片原 勲
創業年：昭和21年
年間売上高：2億6500万円（平成29年）
従業員数：22名
商工会名・担当者名：川西市商工会・古井伸英